

うめのき幼稚園だより

げんきもりもり

えがおにこにこ

ひとみきらきら

令和5年10月31日
北区立うめのき幼稚園

11月

夢中になる遊びを支えて

園長 篠澤 恵理

年少りす組の子どもたちは、製作棚や探検のイメージで作った段ボールの基地を毎日のように園庭に運んでいます。探検をテーマにした運動会では、海への探検を楽しんでいましたが、今では、お化けを捕まえる遊びを思いついたり、魔法をかけられたことにしたりするなど、同じ基地にいても、日替わりで場所や状況を変えて、それぞれに違うことを思い巡らせています。子どもたちは、秋の空の下で開放感を味わい、何かになりきって動いたり、想像したりすることが楽しいようです。担任は、子どもたち一人一人の言葉や思いを面白がりながら受け止めています。子どもたちは、小さな思いや動きも大切にに取り上げてもらえることが嬉しくて、次々とイメージを広げています。思ったことが分かってもらえたと実感すると、さらに考えたり伝えたりするなど、意欲的に遊ぶ姿が見られます。夢中になる遊びの中の「こうしたい」という思いを支えることは、子どもたちの好奇心や主体性、表現力、コミュニケーション力など、幼児期に育みたい学びにつながっていると言えます。

今年度、北区教育研究会の就学前教育研究部という、北区内の幼稚園・こども園や保育園の先生方との毎月の研究会では、「夢中になって遊ぶ幼児の育成」を研究主題として、「遊びたくなる環境」や「友達や教師の存在」などについて、園生活での適切な環境や援助を探っていくことを目指しています。研究を通して、子どもたちが、心をわくわくと躍らせながら、夢中になって遊ぶ過程には、安心して過ごせる空間と、ゆったりと想像力を膨らませる時間と、面白がって一緒に動いてくれる仲間の存在が大切だということを再確認しています。

今月この研究会では、本園でりす組の公開保育を行います。また、梅木小学校や西が丘保育園の先生方との合同研修会でも、2学級の保育を公開し、幼児期から小学校教育への「学びと育ちのつながり」について研修します。子どもたちの健やかな成長と園生活の充実のために、参観される先生方と共に研鑽を重ねてまいります。

えがおにこにこコーナー

運動会では、日頃幼稚園で楽しんでいる内容を取り入れ、海や宇宙への「探検」のテーマで実施しました。親子一緒の入場行進に始まり、遊び心たっぷりの保護者競技など、笑顔が輝く日となりました。地域の皆様の温かな応援と、保護者の皆様のご協力に心から感謝申し上げます。

【親子運動会】 親子リズム

年少リズム表現

年長リズム表現



赤羽北桜高校のボランティアの皆さんが、用具係として活躍してくださり、スムーズに運動会を実施できました。生徒さんたちからは、「先生側の視点で動いたことで、先生たちの思いも知ることができた。」「自分自身の幼少期に、親にしてもらったことを思い浮かべた。」「6月の実習以降の子どもたちの成長に感激した。」など、将来の自分像や親への感謝を思い浮かべる感想もありました。

11月の保育実習で、また一緒に遊べるのが楽しみです。